



春一番インタビュー

# 愛南に新風！ 地域おこし協力隊

## 【地域おこし協力隊】

「地域おこし協力隊」は、人口減少や高齢化等の進行が著しい地方に地域外の人材を積極的に誘致して、定住・定着を図ることで地域力を維持・強化しようという制度です。隊員の任期は最長3年。その間、地域で生活し、各種の地域協力活動を行います。

**現** 在、愛南町では3人の地域おこし協力隊員が活動しています。2017年4月に緑地区に移住した森裕之さん。2018年4月に着任した中本健仁さん、そして同6月に着任した林大地さんの3人です。

今回の特集では、愛南町に新しい風をおこそうと挑戦を続ける3人に、その取組や将来の展望についてお聞きしました。



# Q1

きっかけ

## 結局は、人の縁。 地域の人の情熱に惹かれて

—皆さんが地域おこし協力隊に応募したきっかけを教えてください。

縁があって、そろそろ都会暮らしを止めて戻ろうか、と考えたことが一つ。

**中本** 二つ理由があります。私の妻が愛南町の出身だった

もう一つは、漠然と起業したいという思いがありました。そんな時に、地方のほうが事

業を起こすのに向いているよ、という情報があって、そこに共感をして、地域のためになりつつ自分もやりたい事業を起こせたらな、ということに応募しました。

地方に仕事がないみたいなの話もありますが、逆に地方だからこそ自分で仕事を作れるメリットが、実はあるんだろかなと思っています。

**林** 僕は元々、愛媛大学南予水産研究センターで2年、大学院2年、合計で4年間愛南町にお世話になりました。その後、東京で3年ほど水産関係の仕事をしていたのですが、愛南町に住んでたときに水産業の衰退を実際に肌で感じていたので、水産業を盛り上げるため、どうにかしたいなと思って帰ってきました。



## 中本 健仁 (なかもと・たけひと)

1982年生まれ。神戸市出身。香川大学卒業後、総合人材サービスを展開する企業に入社。企画営業職として12年勤務。その後、Web系のベンチャー企業を経て、2017年4月、地域おこし協力隊として愛南町に着任。主に農業分野で活動している。



あと、僕は田舎のほうが、性に合っているなっと思っていました。ちょうどそのときに愛南町の協力隊の水産分野で募集をしていたので、応募させていただきました。

**森** 私は、横浜で生まれ育って仕事をしてたんですけど、元々自然があるところが好きで農的な暮らしをしたいなということ、地域資源を生かした

## 林 大地 (はやし・だいち)

1990年生まれ。宇和島市出身。愛媛大学・大学院時代は南予水産研究センターに所属し、4年間を愛南町で過ごす。卒業後は東京の鮮魚小売業で3年間勤務。刺身部門や対面販売部門に所属。2017年6月、地域おこし協力隊として愛南町に着任。主に水産分野で活動している。



地方創生、地域創生の仕事にチャレンジしたいなという思いがありました。

そこでまず自分の親戚がいる東温市で集落支援員をさせていただきました。約2年務めたのですが、一定の役割を終えて、次の展開を考えていたときに、緑地域の「まるごと緑」の人たちと縁があつて「森ちゃん、来ないか」と声を掛けてもらって、そのまま地

## 森 裕之 (もり・ひろゆき)

1970年生まれ。横浜市出身。拓殖大学・大学院で国際関係、国際協力を学ぶ。衆議院議員公設秘書を経て横浜市議員を2期務める。2015年東温市に移住。2017年4月、愛南町初の地域おこし協力隊として着任し、緑地域の住民グループ「まるごと緑」と共に地域おこしに奮闘中。



域おこし協力隊として、緑地区に移住することになったと、そんな経緯があります。

皆さんに言わせれば、「ワサ(畏)にかかった」ということらしいですが(笑)。

結局は人の縁。地域の人たちって結構情熱的だし、誠実じゃないですか。やっぱり、そこに惹かれたのかなあ。



# Q2

今の活動

価値がないと  
思われていたものに  
新たな価値を

—今はどんなことに  
取り組んでいますか。

**中本** 農林分野で、柑橘の加工場をつくろうか、どうしようかっていう話が、出ています。農家さん1軒1軒の意向調査に参加させてもらったり、県内外の先進加工場の視察に行かせてもらったり、関わらせてもらっています。

その他、12月から1月は愛南ゴールドがすごく落下するので、その落ちたミカンの皮を使って加工品ができないか考えています。実際に少しずつ農林課や愛媛県の人たちと、皮を使ってマーメイドを作ってみたり、果汁を飲んでみたり、少し研究しているという感じですね。

あと、柑橘加工品の競合商品は世の中に溢れるほどあるので、作ったはいいけどそのものをどうやって誰に売るとかっていう問題があります。





台湾で愛南ゴールドをPRする中本さん

個人的に試作品を作ってみて、研修や商談会などでテストマーケティング的に売り先を探したりみたいなどころの活動を先回りしてやってこうという活動をしています。

**林** 僕は元々、魚を売るといって、消費者に近いところにいるので、都会に魚を売っていただく手伝いをしています。それと付随して首都圏の高島屋などでやっている愛南フェアに参加しています。



ぎょしょく教育で児童にブリのさばき方を教える林さん

今は、丸干しのオイルサーディンを作っていて、もう販売も出来るようなところまで来ています。品質は良いのに形が揃わないからなどという理由で商品にならなかったものに価値を付けて売り出せないかということ、地元の武久海産さんと一緒に取組んでいます。

**森** 私は緑地域の住民団体の「まるごと緑」の皆さんの活動を後押しするというのが、大きなミッションという役割です。皆さんと一緒に、地域を知ってもらおう、愛南町を知ってもらおう、地域を活性化させていくというのが、大まか



ひろゆき  
**森 裕之**さん

●ある1日のスケジュール

AM

- 7時30分 畑仕事
- 8時30分 ツガニの採捕活動  
僧都川の現地調査

PM

- 13時 御荘中学校1年生による「愛南町の消滅を防ごう！大発表会」に参加  
(各班の解決策に対する講評、講演)
- 16時 「まるごと緑」の各種事業等について打合せ
- 17時 緑公民館で執務

●愛南でお気に入りの場所

愛南の高千穂峡。と勝手に呼んでいる僧都川の深谷美は地域の宝。



だいち  
**林 大地**さん

●ある1日のスケジュール

AM

- 5時 深浦にて朝市の手伝い
- 7時 漁協の出荷作業
- 9時 現場まわり  
↳水産関係者の取材や手伝い

PM

- 11時 情報発信のためのSNS更新
- 13時 加工品の試作
- 16時 会議に出席

●愛南でお気に入りの場所

高茂岬。高い場所から広く見渡せる大パノラマは他にない。



たけひと  
**中本 健仁**さん

●ある1日のスケジュール

AM

- 8時30分 農業支援センター勤務  
↳販促フェアなどの打合せ  
↳公式Facebookページ「あいなん農林業ネット」の投稿記事作成やレポート作成

PM

- 農業支援センター勤務  
↳現場(落果した愛南ゴールドの収集・調査)  
↳販促用パッケージ制作などの打合せ
- 18時 自宅で加工品の試作  
個人運用しているSNSの投稿など

●愛南でお気に入りの場所

紫電改展示館。日本唯一の美機展示をもっと多くの人に知ってほしい。





な取組です。

まずは、移住の前段階として、気軽に遊びにきてもらう。そのための仕掛けとして体験ツアーをやっているというところでいま取り組んでいます。

先日も移住希望者が来て、愛南町の食材とか仕事を実際見ていただくということでご案内したんですけど、非常に喜んでいただきました。

地道ですけど、そういう関係人口っていうものを増やして愛南をもっともっとアピールしていく、それが移住定住につながっていくのだと思っています。



「まるごと緑」の仲間たちと。下段左が森さん

林 愛南町で水産業をしたっていう人を地域とか、地元でももちろんですけども、町外の人も呼び込めるような仕掛けをつくっていききたいというところは考えています。あとは地元の新鮮な魚を都市部に販売していけたらそれも将来の仕事につながるのかなと思っています。

中本 今やっている柑橘加工品というところで、どういう形になるか分からないですけど、収入源は作っていききたいと思っています。僕は作ることはプロではないんで、どっちかという価値を付けて売るというほうに、これまでの経験を生かせると思っています。

# Q3 これから 地域資源を生かして 自分らしく

— 現段階での将来の展望をお聞かせください。

森 私は、まず滞在型の体験プログラムです。それを充実させていざねはお金の取れるツアーを実現したいなど。それを生業の一つにしていきたいと思っています。

あと、僧都川の生き物を何とか地域の皆さんの生活向上につなげていこうということ。愛南漁協を通じてツガニを東京に出荷したり、山のほうでは、イノシシとかシカを何とか有効活用したいですね。

私は「海賊」って言ってるんですけど、地域の資源を生かして自分の旗を掲げて、自分らしいライフスタイルとかワークスタイルを実現している人のことです。そういう存在を目指したいし、協力隊がそういう存在になればいいかなと思っています。

## 地域の人の声

### 森さんの活動 地域内外へ影響大！

「まるごと緑」の活動を積極的に発信している森さん。地域外からも反響が大きく、緑地域を訪れる移住希望者が増えました。



「まるごと緑」会長  
しゅんすけ  
木村 俊介さん

### 林さんの活動 地域貢献する挑戦を！

着任当初から、熱心に勉強する姿を見てきました。新商品の開発など地域に貢献するような新しいチャレンジを応援しています。



(株)武久海産代表取締役  
ひろし  
西口 弘さん

### 中本さんの活動 情報発信力に期待！

農業分野は、これまで経験がないようですが、とても勉強熱心。情報発信力を生かして柑橘をどんどん宣伝してほしいです。



第一マルエム青果  
たくや  
松田 拓也さん